

第15回

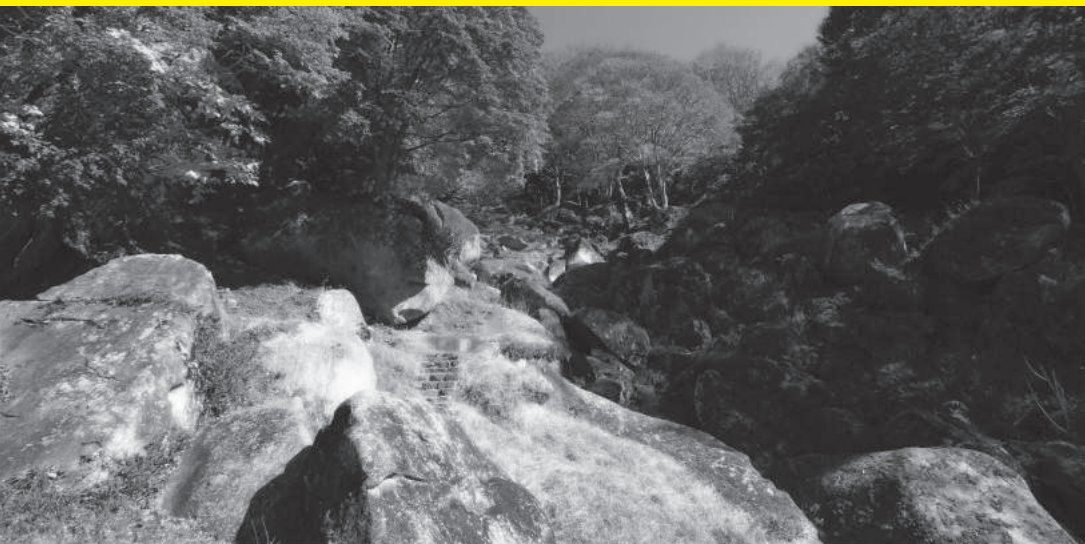
歴史的

風致 散策

武田の魂は？
大和にアリ!

6.23

《特別企画「甲斐ノ五鐘」の拓本をとろう!》開催!



日 6月23日(土) 午前9時～午後3時頃

無料 先着30名 場 大和支所駐車場(集合)

特別企画



「甲斐ノ五鐘」の
拓本をとろう!

■ 散策ルート 栖雲寺～竜門峡～景德院

特別企画「甲斐ノ五鐘」の拓本体験では
栖雲寺銅鐘に刻まれる銘文の拓本の一部をプレゼント!



大和支所駐車場(9:00集合) >>> 栖雲寺 >>> 竜門峡 >>> 景德院 >>> 大和支所(15:10解散予定)



天目山 栖雲寺 (甲州市大和町木賊 122)

臨済宗建長寺派の寺院。南北朝時代の貞和4年(1348年)業海本浄を開山として創建された。国指定重要文化財の普応国師坐像をはじめ、多くの文化財を有する。県指定史跡の石庭は巨岩・奇石からなる豪快な自然の造形が圧巻。

竜門峡

日川溪谷に沿って散策できる竜門峡は巨岩・奇石や水量豊かな清流が見どころ。古くは業海の本目山十境偈頌の中の「龍門瀑」からも水流の激しさがうかがえる。

天童山 景德院

景德院は、武田家最後の当主武田勝頼、北条夫人、嫡男信勝が自刃し、侍卒ら約50名が殉死した地である。その後、徳川家康の命により、景德院が建立された。境内には勝頼公親子が自刃した生首石や墓などがあり、武田一族の歴史を偲ばせる。

information

※保険料200円程度かかります。
※昼食持参。 ※雨天中止。事前にご連絡します。
※軽登山できる服装でご参加ください。

【申込受付開始 6月4日から】(締切日6月20日)

問 文化財課 歴史まちづくり担当 TEL 32-5076